

## 情報部会セッション

テーマ

# 建築士とAI(人工知能)との付き合い方

映える建築士のデバイス活用術

運営 | 情報部会

近年、インスタ映えなどSNSを中心とした情報共有が盛んに行われています。誰でも手軽に情報を提供でき、求める側は手軽に情報を得られる時代であり、企業においても一般の方へのPRにSNSを活用する動きが見られます。

私たち建築士の業務においても、スマートフォンの普及からアプリ等を活用した作業の効率化や情報共有が行われる時代となりました。一方で「AIによってなくなる業種」がネット上でも話題となり、近い将来の展望を危惧する方も少なくないと感じます。では、果たして「AI」は私たち建築士の業務を脅かす存在となりうるのでしょうか？

情報部会セッションでは、これからの建築士とAIとの付き合い方を考え、建築士をどのように世間に周知していくか？ また、建築士としての業務に生かせるツールの情報を収集し共有することで、作

日時…9月21日(土) 10:00~12:00

会場…函館アリーナ2F ホール

定員…60名(予定)



活用できるアプリ  
情報アンケート



さまざまなデバイスツール

業の効率化、業務PRに繋げていくための意見交換の場としたいと考えます。

そこで、大会開催前まで、皆さんより「これは使える! デバイス・ソフト・アプリ」情報を提供いただき、セッション内での活用法などを検証し情報提供していきたいと思ひます。記載しておりますQRコードを読み取り、情報収集にご協力いただけますよう、よろしくお願ひいたします。

## 歴史まちづくりセッション

# 第7回 ヘリテージマネージャー大会

テーマ

# 歴史的建物を使い続ける

持続する地域・まちづくり

運営 | 全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会  
歴史まちづくり部会

地域の歴史を物語る建物が、地域には必ず存在します。歴史的な建物は、その場所の履歴を語っていると申ひえます。歴史的な建物は、建物そのものの魅力だけでなく、その場所、そのまちの魅力にもつながっています。それらの建物は使い続けることによって、その場所の存在が生かされ、建物が立つ地域が生かされていきます。そして使い続ける建物には、使い続ける人々との実におい関係が存在するのです。「使い続ける」をキーワードに、建物と人々、建物と地域、まちとのつながりを考え、生かされ持続していく地域やまちについて掘り下げてみたいと思ひます。

使い続けるために何が必要だったか、何が大切だったか。使い続けることがなぜ可能になったか。どのようなことを克服したから使い

日時…9月21日(土) 10:00~12:00

会場…花びしホテル 2F 芙蓉の間

定員…300名(予定)



「歴史的建物を使い続ける」をテーマに行われたセッション風景

続けることができたか。使い続けることで何が見えてきたか。これからも使い続けていくために何が重要か。

建物を人にたとえれば、建物を使い続けるということは、人がずっと生き続けるということ、生命の血が流れているということです。建物に血が流れているということは、建物を使う人々が常にいて、人々がそのなかで活動し続けていくということです。

北の大地ですっと使い続けている住宅、学校や倉庫、洋館。それらの生きられている建物とともに、地域やまちの生き様をも照射したいと思ひます。